

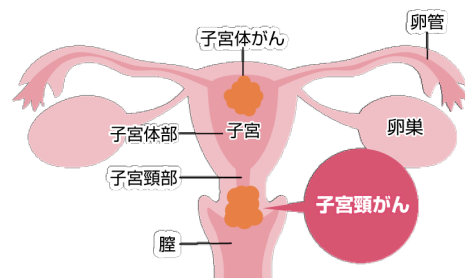
子宮頸がんにならないために

子宮頸がんとは？

子宮頸がんは、子宮の入り口にできるがんです。

子宮がんには、「子宮頸がん」と子宮の奥に発生する「子宮体がん（子宮内膜がん）」の2種類があります。

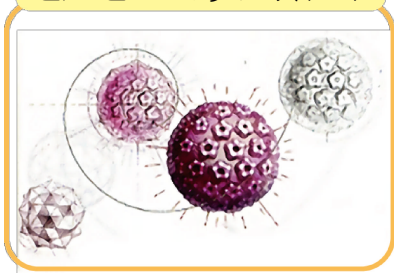
子宮体がんが50代で多いのに比べ、子宮頸がんは20～30代の若い女性に一番多いがんです。



子宮頸がんは予防できます！

(子宮頸がんはワクチン接種と定期健診でほぼ100%予防が可能)

ヒトパピローマウイルス (HPV)



イラスト提供: GSK biologicals

子宮頸がんは、「発がん性ヒトパピローマウイルス(発がん性HPV)」というウイルスの感染が主な原因です。

子宮頸がんの予防ワクチンは、発がん性HPVの中でも特に子宮頸がんから多く見つかる、HPV16型と同18型の感染を予防します。

ただし、ワクチン接種で全ての発がん性HPV感染を防ぐことは出来ませんので、**ワクチンを接種後も定期的な子宮頸がん検診が必要**です。

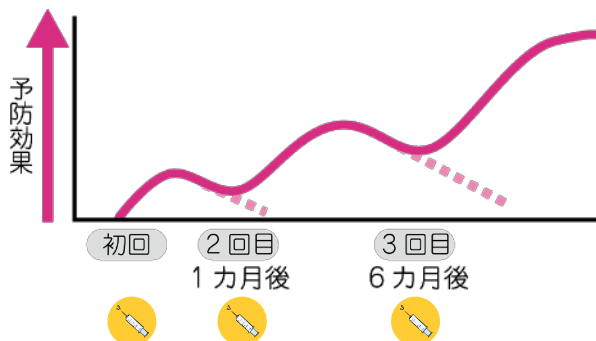
子宮頸がんは、ワクチン接種と定期的な子宮頸がん検診で、ほぼ100%予防が可能です。

子宮頸がん予防ワクチンの接種方法等

子宮頸がん(しきゅうけいがん)予防ワクチンは、上腕(肩に近い腕)の筋肉に注射します。

発がん性HPV(ヒトパピローマウイルス)に対する十分な免疫をつくるために、**6カ月の間に3回の接種が必要**です。

ただし、接種期間の途中で妊娠した場合には、その後の接種は見合わせます。



～ 現在、ワクチン接種ご予約承り中 ～

当支部では15歳以上からワクチン接種ができます
早い段階での接種が効果的です

HPVワクチン接種料金
50,400円(税込)3回接種
(1回につき16,800円)



ワクチン接種のお申し込み・お問い合わせは

結核予防会大阪府支部 大阪総合健診センター

 06-6202-6666